

授業科目	アジアの歴史と文化				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO10108J		
開講年次	2・3・4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3 DP3-1			
担当教員	神崎 明坤							
授業概要	<p>アジアの歴史と文化は、人や物の移動により成立されたものと思われる。21世紀に観光産業は世界で最大の産業に成長し、旅行往来(人や物の移動)の活発な拠点は、欧州・米国とともに、東アジアが三極の1つを担うと言われている。</p> <p>本講義は東アジアを中心に東南アジアや新興国のインドなどの国・地域の地理・歴史・政治・経済・文化を踏まえた上で、諸国が日本との関係や文化交流の現状について考察を行う。また、東アジア特に日中韓に流れる歴史や文化の共有に対する理解を深めると同時に、異文化交流のあり方を認め、相互に尊重しあえる考え方を育みたい。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. アジアの概要を把握することができる。 2. 東アジア、東南アジア、インドの地理・歴史・政治・経済・文化を把握することができる。 3. 日中韓に流れる歴史や文化の共有に対する理解を深めることができる。 4. 異文化交流のあり方を認め、相互に尊重しあえる考え方を育むことができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)			20		10	10	40	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			20		10	5	35	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)			10		10	5	25	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
示されている4つの到達目標を達成することができると同時に、修得した知識を活かして研究や国際交流に取り組むことができる。				示されている4つの到達目標を達成することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:アジアについて アジアの構成国・地域とその区分			講義		該当部分の復習・予習		60

2	テーマ:東アジア① 日本の歴史と文化について	講義	該当部分の復習・予習	60
3	テーマ:東アジア② 中国の歴史と文化について	講義	該当部分の復習・予習	60
4	テーマ:東アジア③ 台湾の歴史と文化について	講義	該当部分の復習・予習	60
5	テーマ:東アジア④ 香港の歴史と文化について	講義	該当部分の復習・予習	60
6	テーマ:東アジア⑤ 韓国の歴史と文化について	講義	該当部分の復習・予習	60
7	テーマ:東南アジア① ベトナムの歴史と文化について	講義	該当部分の復習・予習	60
8	テーマ:東南アジア② タイの歴史と文化について	講義	該当部分の復習・予習	60
9	テーマ:東南アジア③ マレーシア、シンガポールの歴史と文化 について	講義	該当部分の復習・予習	60
10	テーマ:西アジア インドの歴史と文化について	講義	該当部分の復習・予習	60
11	テーマ:文化交流① 日本と中国の文化交流について	講義	該当部分の復習・予習	60
12	テーマ:文化交流② 日本と韓国の文化交流について	講義	該当部分の復習・予習	60
13	テーマ:文化交流③ 日本と東南アジアの文化交流について	講義	該当部分の復習・予習	60
14	テーマ:文化交流④ 日本とインドの文化交流について	講義	該当部分の復習・予習	60
15	テーマ:「アジアの歴史と文化」のまとめ 本講義「アジアの歴史と文化」で扱った 内容を振り返り、総括する。テスト実施	講義	総復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「アジアの歴史と文化」を学ぶ意義を理解してもらう必要がある。			
テキスト	プリント配布予定			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中指導			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ① アジアの旅をすること。 ② 参考書・雑誌・新聞をよく読むこと。 ③ 積極的に授業活動に参加すること。 ④ よく質問すること。 			
達成度評価に関するコメント	レポート及びレポート外の提出物の内容については、授業中に指示をする。			